

### ご挨拶 会長 籠直子

男女共同参画ネットワークは、女性による女性のための活動がスタートです。平成5年に敦賀女性ネットワークが設立、平成17年男女共同参画都市宣言。

取り組みを明らかにいたします。女性たちは「男女共同参画社会の実現」をテーマに学習し、啓発運動に一生懸命でした。地域へ手作り冊子を配布したり、婦人会、区長と語る会を開いたりと数多い活動の記録が残されています。平成18年に会の名称をつるが男女共同参画ネットワークと改めました。20周年記念は、予算が大幅に計上され、中央より著名な講師をお招きし、会場は大変盛り上がりました。と同時に益々ネットワーク活動の大切さを認識します。

活動計画にも独自の活動、新しいものを取り入れ、高校生や中学生との交流も行います。若者たちの意識の変化を知りました。教育の力です。

男女共同参画社会は、道半ばですが、長年の活動で、個性の尊重、女性の活躍推進、自分らしい生き方の選択、性の多様性など、着実に浸透しています。それは、明治大正昭和平成と、大昔から声をあげ戦ってきた勇気ある女性たちのおかげなのです。まだまだ苦しみ悩んでいる人たちが多く、更に関心を持つことが望まれます。

明るい未来を目指し、ネットワークの活動が続けていけるよう願ってやみません。



### 前会長 森下 好子

この30年を振り返りますと、設立時の女性リーダーたちの熱心な取り組みから今日まで、「男女共同参画」の推進団体として多くの活動をしてまいりました。

「高齢化社会に向けた男女共同参画を考える集い」や防災に焦点をあて、支え合う組織づくり等、企画・運営に良い仲間と一緒に携われ、やり遂げた充実感を味わうことができたのもネットワークの組織力のおかげです。

当会は、令和2年度から会長・役員は、輪番制を取り入れ2年間としました。しかし、どこの会も同様ですが、会員の高齢化で活動も陰りがでてくるのではと懸念を抱いています。

さてこの30年で女性を取り巻く法律や制度・環境が



### 前々会長 森田 勝子

ネットワークは、活動目的など異なる団体で構成されています。故に、相互に理解し尊重することが前提となります。また、それぞれが負っている役割を適切に果たすと共に、対等な立場で協力しあうことも大切なことです。他に、「地域づくりは男女共同参画システムを活用しなければやっていけない」と言われます。当会の目的であります男女共同参画社会の形成に、地道に取り組めます。そして、ネットワークの有利性を活かしつつ、事業計画の基本目標として、①透明性・主体性のある組

### 市長からのメッセージ

つるが男女共同参画ネットワークが創立30周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。長きに渡り男女共同参画社会の形成を目指し、豊かな敦賀市づくりに取り組んでこられましたことに心から敬意を表します。



また、これまでの輝かしい歴史を収めた記念紙が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。設立当時は、男女共同参画に関する法整備や取り組みが進められ、男女共同参画社会実現に向けた機運が大いに高まっていた時代であり、現在のネットワークの前身である「敦賀女性ネットワーク」は、活発な市民活動団体の皆様により、大きな期待とともに結成されました。これまでの活動の中には、いろいろと御苦労もあつたことと思いますが、男女共同参画の視点に立った市民公開講座の開催や、学びの実践など、様々な事業を継続的に企画、実施していただいていることは、地域社会に少しずつ浸透しており、多くの女性の活躍を後押ししてこられたことと思います。本市におきましては、「つるが男女共同参画プラン」を平成14年に策定して以降、男女共同参画社会を構築するため、市の取り組みを取りまとめ、現在は第4次プランを基に、市民や団体、地域、事業所における男女共同参画の推進に取り組んでおり、「男女共に自分らしく生きていけるまち 敦賀」の実現を目指し、さらなる男女共同参画社会の推進に努めているところです。

ネットワークの皆様におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知見とネットワークを生かし、新たな課題に挑戦し続けてくださることを期待するとともに、性別に関係なく、全ての人が希望に応じて家庭でも、仕事でも活躍できる社会の実現のため、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、貴団体の益々の御発展と会員の皆さま方の御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

市長 米澤 光治

整ってきました。今後も時代の変化とともに、すべての人々が自分らしく暮らせるまちづくりという普遍的な目的を目指していきましょう。つるが男女共同参画ネットワークの益々の活動を祈念申し上げます。

織づくり、②みんなが話せる場づくり、③コンセプトを明確にし、共有する組織づくりの三つの柱をたてました。

会員の皆様と共に、ネットワークを、ひいては、地域を再生させる何かを掴みたい、そうしなければいけない気持ちです。全ての会員と共に、楽しみや、喜び、達成感を共有したいのです。

(ネットワーク会報19号 平成26年度会長就任時)



# 写真で見る30年のあゆみ

## 10周年に向けた取り組み

### 「敦賀女性ネットワーク」設立

(平成5年5月)



### 市長との対話会

(平成8年度)



\*いきいきまちづくり\*

市や県の現状を学び提言

### 敦賀市各団体との「知事対話」

(平成13年度)



\*知事と語ろう私たちの県政\*



誰もがいきいき暮らせるまちづくりを  
目指し初めての女性議会 (平成14年度)



講師を囲んで記念撮影

創立10周年記念式典 (平成15年度)

## 20周年に向けた取り組み

### 敦賀市男女共同参画都市宣言 記念講演 (平成17年度)



会の名称を変更  
(平成18年度)  
敦賀女性ネットワーク  
↓  
つるが男女共同参画  
ネットワーク

### 創立20周年記念式典 (平成25年度)



披露した寸劇は拍手喝采 →



歴代会長表彰



### 区長との意見交換 (平成17~21年度)



女性リーダーを育てるきっかけとなることを願い



寸劇で問題提起



### JR直流化に合わせ喫茶店を開設 (平成18~24年度)



きらめきみなと館にて  
「港の小さな喫茶」



県内トップを切りレジ袋削減の取り組み  
(平成20年度~)



会員が一丸となりパネル展・バザー・バンド演奏も



駅前ふれあい市を開設 (平成21年度)

# 30周年に向けた取り組み

防災を学ぶ (平成26年度)



介護を学ぶ (平成27年度)



「新春の集い」 (平成26～令和元年度)



## 視察研修



富山県 広域防災センター (平成26年度)



岐阜県複合施設生涯学習拠点 ハートフルスクエアG (平成28年度)



滋賀県甲賀市 あいの土山 福祉会 (平成29年度)



奈良県生駒市 原子力災害時の 広域避難先 (平成30年度)



京都市「京都あじき路地 の取組」 (令和元年度)



人道の港敦賀ムゼウム (令和2年度)

## 他団体との交流



鯖江男女共同参画ネットワーク (令和3年度)



永愛ネットワーク (令和4年度)

### 他団体を受け入れて交流

- あわら市男女共同参画ネットワーク (平成28年度)
- おおの市男女共同参画ネットワーク (平成28年度)
- 若狭女性ネットワーク (平成29年度)
- さかい男女共同参画ネットワーク (平成29年度)
- 福井男女共同参画ネットワーク (令和4年度)

### 多世代交流

- 敦賀高校 (平成28年度)
- 気比高校 (平成29・30年度)
- 角鹿中学 (令和元年度)

市長と語る会 (平成27～30年度)

議員と語る会 (令和3～4年度)



（パープル吊るし鶴制作協力）  
DV防止・人権啓発

### 啓発活動 (市民公開講座や学習会・キャンペーン等)



市民公開講座



街頭キャンペーン



学習会



活動紹介



地域貢献(行事)



# 主な取り組み（平成26年度～令和5年度）

年 度	啓 発 事 業		研 修	
	啓発事業	市長等と語る会	先進地視察研修	研修会・勉強会
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発チラシ配布（6月）</li> <li>山村流防災術（6月7日）</li> <li>公開講座「防災まちづくり講座」（7月24日）</li> <li>原子力防災と放射線（9月26日）</li> <li>市民団体パネル展（10月）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県広域消防防災センター「体験型学習施設四季防災館」（富山市）（11月14日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総会后講座「健康講座」（4月12日）</li> </ul>
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開講座「認知症への理解を深めるには」（7月28日）</li> <li>高齢社会に向けた男女共同参画を考える集い（寸劇・朗読、講演）（11月28日）</li> <li>介護調理実習「達人なうちから、低栄養予防」（3月15日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧上市長（2月12日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人みんなの元気塾（京都府相良郡精華町）（10月5日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后講座「介護保険制度全般と敦賀市の介護保険の現状」（5月16日）</li> </ul>
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開講座「知っていますか？くすりの常識・非常識」（7月27日）</li> <li>・ 公開講座「マイカー制度について」（10月3日）</li> <li>・ DV防止啓発街頭キャンペーン（11月）</li> <li>・ 公開講座「敦賀市のまちづくりについて」（1月30日）</li> <li>・ 多世代交流（敦賀高等学校）「聞こえ若者の声 目指そう魅力あるまちづくり」（3月30日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧上市長（1月30日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岐阜市複合施設生涯学習の拠点「ハートフルシアターG」（岐阜市）（11月16日）</li> </ul>	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開講座「駅周辺整備について」（7月28日）</li> <li>・ DV防止啓発街頭キャンペーン（11月）</li> <li>・ 公開講座「健康出前講座」（2月23日）</li> <li>・ 多世代交流（敦賀気比高等学校）「ジュニア&amp;シニアでクッキング&amp;トーク」（3月9日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧上市長（12月22日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人あいの土山福祉会（滋賀県甲賀市土山町）（11月13日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后講座「元気力アップ講座～実践!! つるが元気体操～」（5月16日）</li> <li>・ 若狭女性ネットワークとの交流会（7月18日）</li> <li>・ さかい男女共同参画ネットワークとの交流会（11月1日）</li> </ul>
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街頭キャンペーン（6月）</li> <li>・ 公開講座「からだのリズムと睡眠」（7月30日）</li> <li>・ 国民体育大会&amp;障害者スポーツ大会でふるまいを担当（10月13日）</li> <li>・ 多世代交流（敦賀気比高等学校）（3月14日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧上市長（2月5日）</li> <li>・ めんず・キッチンその後で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域避難先生駒市での学び（生駒市）（11月8日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后講座「今なぜ女性活躍か？～データでみる福井県の男女共同参画～」（4月16日）</li> <li>・ 広域避難に関する事前研修会（10月3日）</li> </ul>
平成31年度 (令和元年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街頭キャンペーン（6月）</li> <li>・ 公開講座「新庁舎の整備について」（8月6日）</li> <li>・ 公開講座「情報を活かした市立敦賀病院の活用方法」（9月11日）</li> <li>・ 多世代交流（角鹿中学）（11月20日）</li> <li>・ DV防止啓発街頭キャンペーン（11月）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都あじき路地の取り組み（京都市）（12月2日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后講座「子育てのあったらいいなを形にした27年～いつのまにかママから祖母に～」（5月14日）</li> <li>・ 市共催DV講座「避難生活でのいのち・健康・安全、本当に守れますか？」（11月7日）</li> </ul>
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共同参画推進月礼展（6月）</li> <li>・ 公開講座「冬場の健康～風邪・インフルエンザの予防～」（12月5日）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人道の港新敦賀ムゼウム（市内）（11月20日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市共催講座「11人に1人のLGBTQ～多様な性ってどういうこと～」（3月13日）</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共同参画推進月礼展（6月）</li> <li>・ 研修会「福井県における男性の育児休暇取得促進への取組を先進事例として学ぶ」（11月26日）</li> <li>・ 公開講座「哲学カフェ」 「男女共同参画」「私たちにできることってなに？」（3月16日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性議員（10月18日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鯖江男女共同参画ネットワークとの交流（鯖江）（11月14日）</li> </ul>	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街頭キャンペーン（6月）</li> <li>・ 男女共同参画推進月礼展（6月）</li> <li>・ 公開講座「ジェンダーから紐解く北条政子」（9月28日）</li> <li>・ パール吊るし鶴の制作に参加（10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性議員（1月23日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 永愛ネットワークとの交流（永平寺）（11月21日）</li> <li>・ 小浜男女共同参画30周年のつどい（小浜市）（11月26日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后研修会（映像で学ぶ）「大切な価値観」（4月20日）</li> <li>・ 福井男女共同参画ネットワークとの交流（10月14日）</li> <li>・ 市共催講座「五十嵐裕子氏講演会とJETSIAフォーラム」（12月17日）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街頭キャンペーン（6月）</li> <li>・ 公開講座「笑いと健康」（8月1日）</li> <li>・ 30周年記念のつどい（9月30日）</li> <li>・ パープルの木の制作に参加（11月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米澤市長（2月22日）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会后研修会（映像で学ぶ）「パートタイム制度の必要性」（4月28日）</li> <li>・ こどもの国啓発活動（5月5日）</li> <li>・ 市民公開講座「謎の女性作家紫式部と平安文化～その生涯と敦賀～」（1月28日）</li> </ul>

組織充実	他 団 体 行 事 へ の 参 加			定期総会	年 度
	きらめきフェスティバル	日本女性会議等	そ の 他		
1月19日	「今この瞬間をきらめいて ～輝くあなたにきつとなれる!～」 (鯖江市)(6月22日)	・男女共同参画フォーラム (国立女性会館)(8月29～31日)	・松葉かき (6月1日・11月16日) ・環境力 (3月14日)	4月12日	平成26年度
2月15日	「みんなが主役!輝くあした」 (県生活学習館)(6月20日)	・日本女性会議「思いやり男女(ひと) が集う白壁のまち」 (倉敷)(10月9・10日)	・松葉かき (11月14日)	4月16日	平成27年度
1月23日	「やってみよう!!動き出せば未来が変わるよ」 (小浜市)(6月5日)		・松葉かき (11月12日)	4月18日	平成28年度
1月22日	「みんなでなおう地域の未来」 (県生活学習館)(6月11日)		・松葉かき (11月18日)	5月16日	平成29年度
1月19日	「手をつなごう! ともに担って明るい未来を」 (永平寺町 緑の村) (6月23日)			4月16日	平成30年度
1月18日	「ふみ出そう新しい一歩! ～わたしの可能性を楽しむ～」 (県生活学習館)(6月29日)	・男女共同推進フォーラム (国立女性教育会館)(8月29・30日)		5月14日	平成31年度 (令和元年度)
	「みんなの力で地域を元気に ～肌で感じよう自信と誇りのふくい～」 (坂井市丸岡町高棟コミュニティセンター)(11月8日)	・日本女性会議「かけがえない“わ たし”を生きる～ものづくりのまち から発信～」(刈谷市) ＜オンライン参加＞(11月13・14日)		4月30日 (書面)	令和2年度
	「今こそチェンジ! 自分の力、みんなの力 ～自分が変われば世界が変わる～」 (県生活学習館・パリア若狭)(6月19日)	・日本女性会議「未来へつなぐ まち づくりは人づくり～甲斐の国から ともに～」＜アーカイブ視聴＞ (10月25日・26日)		4月27日	令和3年度
	「輝く未来のために ～多様性を認め合い、ともに進もう～」 (パリア若狭)(6月18日)	・日本女性会議「Smile in くらよし ～だれもが共に笑顔になれる夢あ る未来～」 (鳥取くらよし)(10月28・29日)		4月20日	令和4年度
	「あなたらしく 自分らしく ともに輝こう ～未来を変える学びの場～」 (県生活学習館)(6月24日)			4月28日	令和5年度

# 加盟団体の紹介

## つるが男女共同参画ネットワーク (設立:平成5年)

- 設立 平成5年「敦賀女性ネットワーク」として設立。平成18年「つるが男女共同参画ネットワーク」に改称。
- 設立目的 各団体・グループ・事業所・個人の活動を尊重しながら情報を互いに知らせ協議することにより、男女共同参画社会の形成を目指して豊かな敦賀市づくりに寄与する。
- 加盟団体 9団体

## 敦賀市女性の会 (加盟:平成5年、設立:昭和30年)

- 活動目的: 組織の強化に努め、他団体との連携、活動を推進し、地域づくりに貢献、青少年の健全育成を図るため女性の力を結集し、地域の教育力を高め住みよい生活環境の実現に努める。



- 活動内容: ・交通安全街頭指導、各地区公民館高齢者教室に参加  
・消火器の使い方や煙体験、火災、災害時に対応できるよう、女性防火クラブ研修会に参加  
・敦賀マラソン大会の給水支援や会員親睦のためのスポーツ交流会、研修旅行を企画・実施  
・体育祭や文化講演会、会員の集い等、他の市町との交流

- トピックス: 婦人会として残っている地域はありますが、会員数も減少している状況から「連合」とするのはおかしいのではないかと、事、「婦人会という言葉が時代にふさわしくないのでは…」などから、令和5年総会で承認を頂き「敦賀市連合婦人会」から「敦賀市女性の会」と名称変更をしました。敦賀市内全域で入会者募集を呼び掛けており活発な活動ができるよう頑張っていきたいと思っています。

## 敦賀市婦人児童福祉協議会 (加盟:平成5年、設立:昭和38年)

- 活動目的: 婦人と児童の擁護育成を図り福祉増進と併せて地域の福祉発展に寄与すること。

- 活動内容: ・婦人と児童の福祉向上に関する啓蒙 ・婦人、児童の擁護育成  
・結婚の協力及び児童福祉施設児童激励慰問  
・社会施設の見学および嶺南地域との交換研修会の開催



- トピックス: 「ボランティアは見返りを求めない奉仕活動である」私たちはこれを胸に奉仕活動を行っています。人生100年時代の現実化に伴い、ひとり住まいも多く、介護・認知症、DVや児童虐待など多岐にわたる問題が山積みしています。結婚相談では、嶺南地域の結婚相談員との連携を取りながら、一組でも幸せな家庭を築いていただよう願って、若者の出会い・交流応援事業を実施しています。また、マッチングシステム、スマホやパソコンでAIが条件の合うお相手のご紹介があります。

## 国際交流はぎの会 (加盟:平成5年、設立:平成3年)

- 活動目的: 海外研修を通して得た知識や体験・感動、団体生活における団員同志の交流の中で得た発見を地域活動に反映し、地域の国際化を進める。婦人の資質向上、会員相互の親睦、豊かな「ふるさとづくり」をめざす。

- 活動内容: ・研修会等の開催 ・各種情報の提供  
・他団体との交歓会、交流、連携協力  
・ホームステイ、ホームビジット受け入れ  
・在日外国人との交流協力参加 (福井国際フェスティバル REINAM国際交流のつどい)



- トピックス: 令和5年10月21日フィンランド旅行団交流会を人道の港敦賀ムゼウム研修室で開催。外国人女性の自立した行動やフィンランドの生活スタイルなどを学ぶことが出来、大変勉強になった。交流会後松原海岸で楽しそうに泳がれたことも驚き!であった。

## 敦賀更生保護女性会 (加盟:平成5年、設立:昭和33年)

- 活動目的: 女性の立場から、地域における犯罪予防の活動、子どもたちの活動及び子どもたちの健全育成のための活動、子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

- 活動内容: ・福井刑務所の誕生会に出席  
・更生施設を訪問し手作り食事で更生のために家庭的な雰囲気支援  
・親子フェスティバルに参加 ・白梅学園、交番訪問などで地域の子どもの健全育成のため活動  
・ミニ集会を開き、地区会員同士の交流の中で活動の必要性に関する理解を深化



- トピックス: 保護観察所からの非行事例をもとに関係各所 (警察署、学校、PTA、保護司会など) に参加依頼をし、「ケース研修会」を開いています。最近ではSNSによる犯罪や闇バイトに巻き込まれた少年たちのケースについて、参加者は更女会員と共に非行実態や防止について学習し啓蒙活動につなげています。

### 敦賀市消費者連絡協議会 (加盟：平成5年、設立：昭和46年)

- 活動目的：消費者相互の連絡を密にし、消費者の知識を高め、消費者の立場を向上させること。
- 活動内容：
  - ・消費者に関する学習と実践（勉強会、見学会、フォーラム等への参加）
  - ・児童館への出前教室開催
  - ・地球温暖化防止の取り組み（啓発活動、マイバッグ持参推進等）
  - ・その他（人と環境に優しい石鹸普及活動、食品ロスの抑制活動、古き良き食文化の伝承等）
- トピックス：コロナ禍のため延期していましたが創立50周年記念事業を本年度実施しました。10月に著名なジャーナリスト多田文明氏を招き記念講演「詐欺・悪質商法の事例と注意点」を開催、記念誌を作成しました。設立当初は、青空市場開設等消費者の生活を守る活動を、その後はレジ袋削減のためのマイバッグ運動、近年は消費者被害防止の啓発活動と、取り組みテーマ変化していますが「賢い消費者」としての地道な活動を展開しています。



### 敦賀市食生活改善推進員連絡協議会 (加盟：平成5年、設立：昭和43年)

- 活動目的：「私達の健康は私達の手で ～のぼそ健康寿命 つなごう郷土の食～」
- 活動内容：
  - ・市内の事業所や、若者、高齢者、働き世代の方々に減塩や1日の野菜摂取量350gの推進など健康寿命延伸につながる食生活をアドバイス
  - ・親子・骨太・男性料理・在宅介護食などの課題で普及活動
  - ・伝承料理を継承
  - ・食に関する研修
- トピックス：日本食生活協会に属し県委託事業や自主活動を行っています。平成22年度から、減塩や野菜普及活動に加えて、ふくい100彩ごはんメニュー-普及啓発事業を行い、大豆の良さを紹介したり、大豆やその加工品を使ったメニューを調理活動に取り入れたりしています。これからも地域に根差した食生活の改善の推進に努めていきたいと思っています。



### ソフィアつるがの会 (加盟：平成13年、設立：平成10年)

- 活動目的：男女共同参画の実現に向けて県一丸となって積極的に行動し、指導的な役割を果たすリーダーを養成する講座の卒業生の集まりです。
- 活動内容：
  - ・保育園の子ども達に手作り紙芝居やゲームをして「男の子も女の子も一緒だよ」と色等の固定観念を持たないよう、また高齢者の集まりには朗読劇を演じ若い人の生活に協力を求めた。
  - ・中学生と一緒に女性の観光船の船長さんや起業した女性の話を聴き、その後生徒たちとのディスカッションに未来を感じた素晴らしい経験をした。
- トピックス：今まで歩いてきた道は、男女共同参画の実現には氷山の一角にすぎず、まだまだ活動と努力が必要と思いますが、当会も会員の高齢化が進み活動もままならず今年度をもって閉会することとなりました。



### 福井県民生活協同組合 第3地区本部 (加盟：平成18年、設立：昭和52年)

- 活動目的：「組合員の幸せと地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んでいます。
- 活動内容：
  - ・地域団体や他事業と連携し地域のニーズに合った6つの生協サービス(宅配・店舗・生活支援・高齢者介護・子育て支援・共済)を通して地域へのお役立ちを高めている。
  - ・また、協力の力でSDGs達成のための取り組みを推進し、持続可能な社会の実現をめざしている。
- トピックス：女性活躍推進の取り組みが評価され、厚生労働省からプラチナえるぼしの認定を受けました。【2020年認定】



### 福井県退職公務員連盟敦賀支部 (加盟：平成5年 設立：昭和28年)

- 活動目的：日公連「われらの信条」に基づき、恩給・年金受給者の権利と福利厚生を計り、退職後は社会貢献し、相互の親睦をはかる。
- 活動内容：
  - ・講演会の開催
  - ・親睦会と支部グランドゴルフ大会を開催
  - ・県評議員会参加
  - ・研修旅行
  - ・子育て支援活動
  - ・独居高齢者見舞
- トピックス：県のグラウンドゴルフ大会上位入賞 女性数名個人入賞  
文芸サロン（県会報）に短歌出品  
数名の女性が自分の特技趣味を生かして、市内の保育園などを訪れ茶道や華道の指導をしている。



# 創立30周年記念のつどい

30周年記念のつどいは、敦賀市の共催を受け、敦賀市長米澤光治様、市議会議員馬淵清和様のご臨席のもと、あいあいプラザで行われ、70名の参加がありました。

挨拶やご祝辞の中では、男女共同参画社会の実現に尽力された諸先輩の方々への敬意と、これからの進む道を示していただきました。もっと敦賀が好きになる温かな男女共同参画社会をめざし、飛躍するためには人のエネルギーが必要で、一人ひとりが性別に関係なく活躍できる敦賀にしたいという熱い思いが語られました。

続いて30周年のあゆみがスクリーンに映し出されました。平成5年度の敦賀女性ネットワークの設立総会に始まり、行政との対話や多世代との交流、啓発活動、更に他県視察や様々な学習会の実施等、時代の流れの中で多くの活動を行ってきたことが懐かしく思い出されました。



## 記念講演 川村 俊彦氏

### 「近代敦賀の歩み～港と敦賀～」

敦賀在住の歴史家であり博物館館長でもあった川村俊彦先生から、敦賀の近代史についてご講演いただいた。

良港を持つ敦賀は、明治以前から北前船などでの物資輸送を担っていたため、新政府の殖産興業政策の一環として鉄道がいち早く整備された。明治15年には長浜・敦賀間の鉄道が開通した（17年に柳ヶ瀬トンネルが完成し、長浜・敦賀間全線開通）。鉄道黎明期の敦賀の賑わいや、現存する鉄道遺産を紹介された。



しかし、敦賀以北への鉄道の延伸と共に、敦賀の賑わいはなくなっていった。銀行家大和田荘七は、国内輸送から海外貿易への転換を図ることに助力し敦賀は再び国際貿易港として活気づいた。明治39年に外国人向けに敦賀ホテルが開業し、40年に

敦賀・ウラジオストク直通定期航路に新造船「鳳山丸」が就航した。この頃はまだ大型船が接岸できなかったため舢舨（はしけ）と呼ばれる小型蒸気船が大型船と陸とを往来していた。大正2年に大型船が接岸できる港が整備された。多くの人々が敦賀を経由して外国に行き来していたことが文献に残されている。昭和14年には「杉原ビザ」を持ったユダヤ人難民が上陸し敦賀の人々が暖かく迎えたことは敦賀の誇りでもある。

しかし、この後敦賀は軍事港となり、昭和20年の度重なる空襲、模擬原爆の投下により市街地の8割が罹災した。

近代敦賀の光と影の歴史を振り返ることで、これからの敦賀を作っていく一助としてほしい。平和な世の中ともっと女性が大きな意思決定の場に参加する世の中を願っている、と締めくくられた。

## 活動紹介 敦賀高校創生部

### 「これからの敦賀を担う高校生のチャレンジ」

敦賀高校「創生部」6名の皆さんに活動紹介をしていただいた。

コロナを理由とした差別や人権侵害が各地で起きていることを知り、差別のない敦賀にしたいと考え、ホロコーストの学習を始めた。そして中谷剛さん（アウシュビッツ博物館ガイド）の「歴史を知ること、なぜ起きたかを考え、繰り返さぬよう行動すること」という言葉に感銘を受けた。敦賀は、差別されたユダヤ人を受け入れた歴史がある。この多様性に寛容で国際色豊かな当時の雰囲気を感じれば、敦賀に差別など起こらないのではないかと考え、そのための実践として、ムゼウムでガイド活動

を行っている。しかしムゼウムに来られる方たちは元々人権意識が高い。さらに多くの人たちに人権の大切さを伝える活動をしていきたいと考えている。ロシアのウクライナ侵攻によりウクライナの伝統料理が消滅の危機に瀕していることを知り、ポルシチに敦賀のアカカンバを使った「ツルシチ」を開発した。また敦賀市の応援を受けポーランドへ行き、「ポンチキ」と出会い、「敦賀ポンチキ」の開発を行っている。

彼女たちの「物事を自分のこととして捉え、無関心にならずアクションを起こす。人権意識を高め敦賀の魅力を作っていく。敦賀を良いまちにする。」と力強くあげる声に明るい未来を感じた。



敦賀の歴史を知り、男女共同参画のあゆみを振り返り、これからの敦賀に若人の息吹を感じました。もっともっと敦賀が好きになる活動をしていこう。そんな気持ちの高鳴りを感じたつどいでした。